

## この薬について

1. 体内で作られる副腎皮質ホルモンと同じ働きをするステロイドという薬です
2. 炎症や免疫アレルギーを抑える作用など様々な効果があります



## 注意事項

### 用法用量について

#### 1 自己判断で減量しないでください

一般的に多い量から飲み始めて、効き目が良ければゆっくり減らしていきます。量が減るまで時間がかかることがあります。無理に減らすと症状が再発することがあります。

#### 2 飲み忘れにご注意ください

飲み忘れに気付いたときは、1回分をすぐに飲んでください。

#### 3 自己判断で内服を中止しないでください

ステロイドを長期的に内服していると、体内で副腎皮質ホルモンが分泌されにくくなることがあります。急に薬の内服をやめると副腎皮質ホルモンが不足し離脱症状が起こることがあります。

#### 4 指示通りに内服しましょう

ステロイドは非常に効き目が良い薬ですが、きちんと飲まないと副作用だけが出て肝心の効果が出ないことがあります。長期間飲むこともあるお薬なので、薬の性質を十分に理解して正しく続けることが大切です。

### 食事について

#### 1 食べすぎ、塩分の取りすぎには気を付けましょう

血糖、血圧、コレステロールが高くなる可能性があります。減塩、バランスのよい食事を心がけましょう。

#### 2 刺激のある飲食物は控えましょう

胃や十二指腸に潰瘍ができやすくなります。コーヒーや辛いものなど刺激のある飲食物は避けてください。



## 生活について

### 1 手洗い、うがい、マスクの着用をしましょう

細菌やウイルスに対する抵抗力(免疫力)が落ちるため、人混みではマスクの着用、手洗いうがいをしっかりするよう心がけてください。



### 2 骨折に気をつけましょう

長期に内服すると骨がもろくなりやすく、骨折しやすくなります。カルシウムの適度な摂取や軽い運動で予防するようにしてください。



### 3 イライラしたり眠りにくくなる場合があります

飲み始めは不眠症、うつ症状が出る場合があります。ステロイドの減量により改善します。



## その他

### 1 顔が丸くなる(ムーンフェイス) 場合があります

脂肪の代謝障害により、顔が丸くなり、おなかに脂肪がつきやすくなる場合があります。ステロイドの減量により改善します。



### 2 長く飲み続ける場合はその他の副作用にも注意が必要です

白内障や緑内障のおそれや、筋力が弱くなったり、糖尿病の方は血糖値が上がる可能性があります。女性では生理不順が起こる場合もあります。いずれも薬の量が減ると改善します。

**この薬には一緒に飲んではいけない薬があります！**

他の病院や歯科を受診したり、薬局などで市販薬やサプリメント、健康食品を購入する場合には、この薬を服用していることを伝えましょう